

平成 19 年 10 月 5 日

3 号機使用済燃料プール内でのプラスチック片らしきものの
回収結果について

平成 19 年 9 月 20 日、定期検査中の当所 3 号機において、使用済燃料プールの水面にプラスチック片らしきものが 1 個（約 24cm×約 16cm）浮いていることを協力企業作業員が発見・回収したことから、調査を行うこととしました。
([平成 19 年 9 月 20 日お知らせ済み](#))

調査の結果、回収したプラスチック片らしきものは脆くなり変質が進んでおり、過去に使用済燃料プール内で物品保管用に使用していたポリ容器と類似していることがわかりました。

平成 4 年以降は、使用済燃料プール内の保管物品について管理を強化しており、本ポリ容器については持ち込まれたことがないことから、これ以前に使用していたポリ容器の破片がプール内構造物の隙間等に長期間滞留し、今回、使用済燃料プール冷却系のポンプ運転による水流の変化によって浮き上がってきたものと推定しております。

今後とも引き続き、使用済燃料プール内の保管物品を適切に管理するとともに、異物混入防止対策を徹底してまいります。

以 上